大学番号 私立237

設置年度　　令和　　元年度

計画の区分：　学部の学科の設置

認可

大手前大学　国際看護学部　　看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　大手前学園
令和３年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総合企画部　総合企画室
職名・氏名	部長　大江俊司（オオエ シュンジ）
電話番号	0798-32-7521
（夜間）	0798-32-5043
ｅ－mail	g-ad@otemae.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人　大手前学園

（２）大　学　名

大手前大学

（３）調査対象大学等の位置

〒５４０－０００８
大阪府大阪市中央区大手前２丁目１番８８号
（〒６６２－８５５２　兵庫県西宮市御茶家所町６番４２号）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（フクイ　ヨウ） 福井　要 （平成25年9月）		
学　　長	（トリゴエ　ヒロユキ） 鳥越　皓之 （平成28年4月）		
学 部 長	（スズイ　エミコ） 鈴井　江三子 （平成31年4月）		
学科長等			

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	年 4	人 80	年次 人 －	人 320		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） ［　］	人	人 （　） ［　］	人	人 80 （－） ［－］	人	人 80 （－） ［－］	人	人 80 （－） ［－］	人	1.05倍	－倍	
志願者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	618 （－） ［－］	－ （－） ［－］	584 （－） ［－］	－ （－） ［－］	345 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	580 （－） ［－］	－ （－） ［－］	542 （－） ［－］	－ （－） ［－］	323 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	147 （－） ［－］	－ （－） ［－］	141 （－） ［－］	－ （－） ［－］	131 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	84 （－） ［－］	－ （－） ［－］	80 （－） ［－］	－ （－） ［－］	89 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ					1.05		1.00		1.11				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	[　] (　)	84 [－] (－)	－ [－] (－)	80 [－] (－)	－ [－] (－)	89 [1] (－)	－ [－] (－)	
２年次			[　] (　)	[　] (　)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	81 [－] (－)	－ [－] (－)	80 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	81 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[　] (　)		[　] (　)		84 [－] (－)		161 [－] (－)		250 [1] (－)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	84 人	3 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、他学部への転部（1人）
令和2年度	161 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	250 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合　計		3 人		3 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = 0$ %

【平成30年度】

$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = 0$ %

【令和元年度】

$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{84} = 3.57$ %

【令和2年度】

$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{161} = 0$ %

【令和3年度】

$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{250} = 0$ %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜国際看護学部　看護学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	基礎分野	リベラルアーツ	キャリアプランニングⅠ	1前	1			6	4	9	10		
			キャリアプランニングⅡ	2前	1			6	4	9	10		
			生命・医療倫理	1後	1								1
			哲学入門	1前		1							1
			法学の基礎	1前		1							1
			国際社会学	4前		1							1
			看護のための接遇演習	1前・後		1							1
		グローバル社会と言葉	Practical English Ⅰ for Nurses	1前	1				1				2
			Practical English Ⅱ for Nurses	1前	1				1				2
			Academic Writing & Debate	3前	1								1
			看護のための中国語	1後		1							1
			看護のための韓国語	1後		1							1
			Basic Communication in Global Context	2前		1			1				
			Listening & Speaking in a Global Society	2前		1			1				
		グローバル社会と文化	大阪・神戸における多様な共生社会と文化	1前	1			1					6
			医療人類学	1前	2			1					
			情報倫理	1後		1							1
			国際政治・経済	1後		1							1
		科学と情報	化学	1前	2			1					
			生物学・細胞生物学	1前	2								1
			情報活用Ⅰ	1前	1								1
			情報活用Ⅱ（含統計処理）	1後	1								1
		スポーツとセルフケア	スポーツ生理学	1前	1								1
			スポーツと健康	1後	1								1
小計(24科目)				－	17	10	0	8	5	9	10	0	21

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	基礎分野	リベラルアーツ	キャリアプランニングⅠ	1前	1			5	6	9	8		
			キャリアプランニングⅡ	2前	1			5	6	9	8		
			生命・医療倫理	1後	1								1
			哲学入門	1前		1							1
			法学の基礎	1前		1							1
			国際社会学	4前		1							1
			看護のための接遇演習	1前・後		1							1
		グローバル社会と言葉	Practical English Ⅰ for Nurses	1前	1				1				2
			Practical English Ⅱ for Nurses	1前	1				1				2
			Academic Writing & Debate	3前	1								3
			看護のための中国語	1後		1							1
			看護のための韓国語	1後		1							1
			Basic Communication in Global Context	2前		1			1				
			Listening & Speaking in a Global Society	2前		1			1				2
		グローバル社会と文化	大阪・神戸における多様な共生社会と文化	1前	1			1					6
			医療人類学	1前	2			1					
			情報倫理	1後		1							1
			国際政治・経済	1後		1							1
		科学と情報	化学	1前	2			1					
			生物学・細胞生物学	1前	2								1
			情報活用Ⅰ	1前	1								2
			情報活用Ⅱ（含統計処理）	1後	1								2
		スポーツとセルフケア	スポーツ生理学	1前	1								1
			スポーツと健康	1後	1								1
小計(24科目)				－	17	10	0	7	7	9	8	0	25

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎分野	人体の構造と機能		解剖生理学	1前	2								1
			病態生理学	1前	2			1					
			生化学	1後	1								1
			薬理学	1後	1			1					
			微生物学・医動物	1後	1								1
			臨床栄養学	1後	2								1
	疾病の成り立ちと回復の促進		病態学Ⅰ(呼吸器・循環器)	2前	1								1
			病態学Ⅱ(栄養代謝)	2前	1								1
			病態学Ⅲ(造血・免疫)	2前	1			1					
			病態学Ⅳ(脳・神経・感覚)	2前	1								1
			病態学Ⅴ(運動)	2前	1			1					
			病態学Ⅵ(内部環境調節・性・生殖)	2前	1			1					
			疾病と治療	2前	1			1					
	健康支援と社会保障制度		健康と社会・生活	2後	1			1					
			公衆衛生	2後	2								1
			社会福祉と社会保障	2後	2			2					1
			医療関係法規	2後	2			2			2		1
	他者理解とコミュニケーション		医療コミュニケーション	1前	1					1			
			ひとの発達とライフサイクル	1後	1								1
			カウンセリングスキル	2前	2								1
小計(20科目)				－	27	0	0	3	0	1	2	0	12
専攻科目 専門分野	基盤専門看護学分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
			グローバルヘルスと看護	1前	1			1					
			基礎看護方法論Ⅰ(含医療安全)	1後	2			1		1			
			基礎看護方法論Ⅱ(含看護管理)	3後	1					2			
			基礎看護技術Ⅰ	1前	1			1		2			
			基礎看護技術Ⅱ	1後	1					2	1		
			基礎看護技術Ⅲ	2前	1					2	1		
			基礎看護技術Ⅳ	2後	1			1		2			
			看護過程	2通	1					4	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			1		4	1	1	
			基礎看護学実習Ⅱ	2前	1			1		4	1	1	
			基礎看護学実習Ⅲ	2後	2			1		4	1	1	
		成人看護学	成人看護学概論	2前	1			1					
			多様性とセルフマネジメント	2前	1			1					
			急性看護援助論Ⅰ	2後	1			1		1	1		
			急性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
			慢性看護援助論Ⅰ	2後	1				2		1		
			慢性看護援助論Ⅱ	3前	1				2		1		
			成人看護学実習(急性期)	3前	3			1	2	1	1	3	
			成人看護学実習(慢性期)	3前	3			1	2	1	1	3	
	生涯発達看護学分野	母性看護学	母性健康看護学概論	2後	1			1					
			グローバル社会とウィメンズヘルス	2後	1			1					
			母性看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			母性看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学	小児看護学概論	2後	1			1					
			多様性と子ども	2後	1			1					
			小児看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			小児看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			小児看護学実習	3後	2			1		1	1		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎分野	人体の構造と機能		解剖生理学	1前	2								1
			病態生理学	1前	2			1					
			生化学	1後	1								1
			薬理学	1後	1			1					
			微生物学・医動物	1後	1								1
			臨床栄養学	1後	2								1
	疾病の成り立ちと回復の促進		病態学Ⅰ(呼吸器・循環器)	2前	1								1
			病態学Ⅱ(栄養代謝)	2前	1								1
			病態学Ⅲ(造血・免疫)	2前	1			1					
			病態学Ⅳ(脳・神経・感覚)	2前	1								1
			病態学Ⅴ(運動)	2前	1			1					
			病態学Ⅵ(内部環境調節・性・生殖)	2前	1			1					
			疾病と治療	2前	1			1					
	健康支援と社会保障制度		健康と社会・生活	2後	1			1					
			公衆衛生	2後	2								1
			社会福祉と社会保障	2後	2			2					1
			医療関係法規	2後	2			2			1		2
	他者理解とコミュニケーション		医療コミュニケーション	1前	1					1			
			ひとの発達とライフサイクル	1後	1								1
			カウンセリングスキル	2前	2								1
小計(20科目)				－	27	0	0	3	0	1	1	0	13
専攻科目 専門分野	基盤専門看護学分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1				1				
			グローバルヘルスと看護	1前	1								1
			基礎看護方法論Ⅰ(含医療安全)	1後	2				1	1			
			基礎看護方法論Ⅱ(含看護管理)	3後	1					1			
			基礎看護技術Ⅰ	1前	1				1	2			1
			基礎看護技術Ⅱ	1後	1					1	1		
			基礎看護技術Ⅲ	2前	1					1	1		1
			基礎看護技術Ⅳ	2後	1				1	2			
			看護過程	2通	1					3	1		1
			基礎看護学実習Ⅰ	1後	1				1	3	1	1	
			基礎看護学実習Ⅱ	2前	1				1	3	1	1	1
			基礎看護学実習Ⅲ	2後	2				1	3	1	1	
		成人看護学	成人看護学概論	2前	1			1					
			多様性とセルフマネジメント	2前	1			1					
			急性看護援助論Ⅰ	2後	1			1	1		2		
			急性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	2		1		
			慢性看護援助論Ⅰ	2後	1				2		2		
			慢性看護援助論Ⅱ	3前	1				2		2		
			成人看護学実習(急性期)	3前	3			1	3		2		
			成人看護学実習(慢性期)	3前	3			1	3		2		
	生涯発達看護学分野	母性看護学	母性健康看護学概論	2後	1			1					
			グローバル社会とウィメンズヘルス	2後	1			1					
			母性看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			母性看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学	小児看護学概論	2後	1			1					
			多様性と子ども	2後	1			1					
			小児看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			小児看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			小児看護学実習	3後	2			1		1	1		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専攻科目	専門分野 生涯発達看護学分野	老年看護学	高齢者看護学概論	3前	1			1					
			多様性と超高齢化社会	3前	1			1					
			高齢者看護援助論Ⅰ	3前	1					1	1		
			高齢者看護援助論Ⅱ	3後	1					1	1		
			高齢者看護学実習Ⅰ	3後	2					1	2	2	
			高齢者看護学実習Ⅱ	3後	2					1	2	2	
	専門分野 国際地域看護学分野	精神看護学	精神看護学概論	2後	1				1				
			地域社会のメンタルヘルスと多様性	3前	1				1				
			精神看護援助論Ⅰ	3後	1				1	1	1		
			精神看護援助論Ⅱ	4前	1				1	1	1		
			精神看護学実習	4前	2				1	1	1		
		在宅看護学	在宅看護学概論	2後	1			1					
			グローバル化と在宅看護	3前	1			1					
			在宅看護援助論Ⅰ	3後	1			1			2		
			在宅看護援助論Ⅱ	4前	1			1			2		
			在宅看護学実習	4前	2			1			2		
		国際看護学	国際看護学概論	1前	1			1					
			国際看護演習Ⅰ	1後	1			1	1		1		
			国際看護演習Ⅱ	2前	1			1	1				
			国際看護演習Ⅲ	3前	1			1	1				
			国際看護演習Ⅳ	4後		1		1	1				
			国際看護学実習Ⅰ	1前	1			1	1		1		
			国際看護学実習Ⅱ	2前・後	1			1	1		1		
			国際看護学実習Ⅲ	3後	1			1	1		1		
	統合分野	看護探究学	外国人診療	4前	1			2					1
			災害看護	4後	1				1				
			看護研究Ⅰ	3後	1			6	4	9			
			看護研究Ⅱ	4通	3			6	4	9			
			統合看護学実習	4後	2			6	4	9	10		
小計（59科目）				－	73	1	0	7	4	9	10	3	1
合計（103科目）				－	117	11	0	8	5	9	10	3	33

卒業要件及び履修方法

〈卒業要件〉
・4年以上在学し、必修117単位、選択必修2単位を含む合計124単位以上を修得すること。
・入学時からの通算GPA1.5以上
履修科目の登録の上限：1年次 40単位／年度、2～4年次 20単位／学期　※GPAにより変動

〈履修方法〉
総合科目の【基礎分野】から、以下の通り合計22単位以上を修得すること。
・必修17単位
・[グローバル社会と言葉]から選択必修2単位※
・[リベラルアーツ][グローバル社会と文化]の選択科目から合計3単位以上
専攻科目の【専門基礎分野】区分から必修27単位を修得すること。
専攻科目の【専門分野】区分から必修73単位を修得すること。

※「看護のための中国語」または「看護のための韓国語」のいずれか1単位 および「Basic Communication in Global Context」または「Listening & Speaking in a Global Society」のいずれか1単位

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専攻科目	専門分野 生涯発達看護学分野	老年看護学	高齢者看護学概論	3前	1			1					
			多様性と超高齢化社会	3前	1			1					
			高齢者看護援助論Ⅰ	3前	1					2	1		
			高齢者看護援助論Ⅱ	3後	1					2	1		
			高齢者看護学実習Ⅰ	3後	2					2	1		
			高齢者看護学実習Ⅱ	3後	2					2	1		
	専門分野 国際地域看護学分野	精神看護学	精神看護学概論	2後	1				1				
			地域社会のメンタルヘルスと多様性	3前	1				1				
			精神看護援助論Ⅰ	3後	1				1	1			
			精神看護援助論Ⅱ	4前	1				1	1			
			精神看護学実習	4前	2				1	1			
		在宅看護学	在宅看護学概論	2後	1			1					
			グローバル化と在宅看護	3前	1			1					
			在宅看護援助論Ⅰ	3後	1			1			2		
			在宅看護援助論Ⅱ	4前	1			1			2		
			在宅看護学実習	4前	2			1			2		
		国際看護学	国際看護学概論	1前	1			1					
			国際看護演習Ⅰ	1後	1			1	1	1			
			国際看護演習Ⅱ	2前	1			1	1	1			
			国際看護演習Ⅲ	3前	1			1	1	1			
			国際看護演習Ⅳ	4後		1		1	1				
			国際看護学実習Ⅰ	1前	1			1	1	1		1	
			国際看護学実習Ⅱ	2通	1			1	1	1		1	
			国際看護学実習Ⅲ	3後	1			1	1	1		1	
	統合分野	看護探究学	外国人診療	4前	1			2					1
			災害看護	4後	1				1				
			看護研究Ⅰ	3後	1			5	6	9			
			看護研究Ⅱ	4通	3			5	6	9			
			統合看護学実習	4後	2			5	6	9	8		
小計（59科目）				－	73	1	0	6	6	9	8	2	3
合計（103科目）				－	117	11	0	7	7	9	8	2	40

卒業要件及び履修方法

〈卒業要件〉
・4年以上在学し、必修117単位、選択必修2単位を含む合計124単位以上を修得すること。
・入学時からの通算GPA1.5以上
履修科目の登録の上限：1年次 40単位／年度、2～4年次 20単位／学期　※GPAにより変動

〈履修方法〉
総合科目の【基礎分野】から、以下の通り合計22単位以上を修得すること。
・必修17単位
・[グローバル社会と言葉]から選択必修2単位※
・[リベラルアーツ][グローバル社会と文化]の選択科目から合計3単位以上
専攻科目の【専門基礎分野】区分から必修27単位を修得すること。
専攻科目の【専門分野】区分から必修73単位を修得すること。

※「看護のための中国語」または「看護のための韓国語」のいずれか1単位 および「Basic Communication in Global Context」または「Listening & Speaking in a Global Society」のいずれか1単位

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	基礎分野	リベラルアーツ	キャリアプランニングⅠ	1前	1			6	4	8	10		
			キャリアプランニングⅡ	2前	1			6	4	8	10		
			生命・医療倫理	1後	1								1
			哲学入門	1前		1							1
			法学の基礎	1前		1							1
			国際社会学	4前		1							1
			看護のための接遇演習(後 未調調)	1前・後		1							1
		グローバル社会と言葉	Practical English Ⅰ for Nurses	1前	1				1				2
			Practical English Ⅱ for Nurses	1前	1				1				2
			Academic Writing & Debate	3前	1								1
			看護のための中国語	1後		1							1
			看護のための韓国語	1後		1							1
			Basic Communication in Global Context	2前		1			1				
			Listening & Speaking in a Global Society	2前		1			1				
		グローバル社会と文化	大阪・神戸における多様な共生社会と文化	1前	1			1					6
			医療人類学	1前	2			1					
			情報倫理	1後		1							1
			国際政治・経済	1後		1							1
		科学と情報	化学	1前	2			1					
			生物学・細胞生物学	1前	2								1
			情報活用Ⅰ	1前	1								2
			情報活用Ⅱ（含統計処理）	1後	1								2
		スポーツフェアケアと	スポーツ生理学	1前	1								1
			スポーツと健康	1後	1								1
小計（24科目）				－	17	10	0	8	5	8	10	0	22

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	基礎分野	リベラルアーツ	キャリアプランニングⅠ	1前	1			4	5	8	9		
			キャリアプランニングⅡ	2前	1			4	5	8	9		
			生命・医療倫理	1後	1								1
			哲学入門	1前		1							1
			法学の基礎	1前		1							1
			国際社会学	4前		1							1
			看護のための接遇演習	1前・後		1							1
		グローバル社会と言葉	Practical English Ⅰ for Nurses	1前	1				1				2
			Practical English Ⅱ for Nurses	1前	1				1				2
			Academic Writing & Debate	3前	1								1
			看護のための中国語	1後		1							1
			看護のための韓国語	1後		1							1
			Basic Communication in Global Context	2前		1			1				
			Listening & Speaking in a Global Society	2前		1			1				2
		グローバル社会と文化	大阪・神戸における多様な共生社会と文化	1前	1			1					6
			医療人類学	1前	2			1					
			情報倫理	1後		1							1
			国際政治・経済	1後		1							1
		科学と情報	化学	1前	2			1					
			生物学・細胞生物学	1前	2								1
			情報活用Ⅰ	1前	1								2
			情報活用Ⅱ（含統計処理）	1後	1								2
		スポーツフェアケアと	スポーツ生理学	1前	1								1
			スポーツと健康	1後	1								1
小計（24科目）				－	17	10	0	6	6	8	9	0	21

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎分野		人体の構造と機能	解剖生理学	1前	2								1
			病態生理学	1前	2			1					
			生化学	1後	1								1
			薬理学	1後	1			1					
			微生物学・医動物	1後	1								1
			臨床栄養学	1後	2								1
		疾病の成り立ちと回復の促進	病態学Ⅰ(呼吸器・循環器)	2前	1								1
			病態学Ⅱ(栄養代謝)	2前	1								1
			病態学Ⅲ(造血・免疫)	2前	1			1					
			病態学Ⅳ(脳・神経・感覚)	2前	1								1
			病態学Ⅴ(運動)	2前	1			1					
			病態学Ⅵ(内部環境調節・性・生殖)	2前	1			1					
			疾病と治療	2前	1			1					
		健康支援と社会保障制度	健康と社会・生活	2後	1			1					
			公衆衛生	2後	2								1
			社会福祉と社会保障	2後	2			2					1
			医療関係法規	2後	2			2			2		1
		他者理解とコミュニケーション	医療コミュニケーション	1前	1					1			
			ひとの発達とライフサイクル	1後	1								1
			カウンセリングスキル	2前	2								1
小計(20科目)				－	27	0	0	3	0	1	2	0	12
専攻科目	専門分野 基盤専門看護学分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1					
			グローバルヘルスと看護	1前	1			1					
			基礎看護方法論Ⅰ(含医療安全)	1後	2			1		1			
			基礎看護方法論Ⅱ(含看護管理)	3後	1					2			
			基礎看護技術Ⅰ	1前	1			1		2			
			基礎看護技術Ⅱ	1後	1					2	1		
			基礎看護技術Ⅲ	2前	1					2	1		
			基礎看護技術Ⅳ	2後	1			1		2			
			看護過程	2通	1					4	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			1		4	1	1	
			基礎看護学実習Ⅱ	2前	1			1		4	1	1	
			基礎看護学実習Ⅲ	2後	2			1		4	1	1	
		成人看護学	成人看護学概論	2前	1			1					
			多様性とセルフマネジメント	2前	1			1					
			急性看護援助論Ⅰ	2後	1			1		1	1		
			急性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
			慢性看護援助論Ⅰ	2後	1				2		1		
			慢性看護援助論Ⅱ	3前	1				2		1		
			成人看護学実習(急性期)	3前	3			1	2	1	1	3	
			成人看護学実習(慢性期)	3前	3			1	2	1	1	3	
	生涯発達看護学分野	母性看護学	母性健康看護学概論	2後	1			1					
			グローバル社会とウィメンズヘルス	2後	1			1					
			母性看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			母性看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			母性看護学実習	3後	2			1		1	1		
		小児看護学	小児看護学概論	2後	1			1					
			多様性と子ども	2後	1			1					
			小児看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			小児看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			小児看護学実習	3後	2			1		1	1		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎分野		人体の構造と機能	解剖生理学	1前	2								1
			病態生理学	1前	2			1					
			生化学	1後	1								1
			薬理学	1後	1			1					
			微生物学・医動物	1後	1								1
			臨床栄養学	1後	2								1
		疾病の成り立ちと回復の促進	病態学Ⅰ(呼吸器・循環器)	2前	1								1
			病態学Ⅱ(栄養代謝)	2前	1								1
			病態学Ⅲ(造血・免疫)	2前	1			1					
			病態学Ⅳ(脳・神経・感覚)	2前	1								1
			病態学Ⅴ(運動)	2前	1			1					
			病態学Ⅵ(内部環境調節・性・生殖)	2前	1			1					
			疾病と治療	2前	1			1					
		健康支援と社会保障制度	健康と社会・生活	2後	1			1					
			公衆衛生	2後	2								1
			社会福祉と社会保障	2後	2			2					1
			医療関係法規	2後	2			1			2		1
		他者理解とコミュニケーション	医療コミュニケーション	1前	1					1			
			ひとの発達とライフサイクル	1後	1								1
			カウンセリングスキル	2前	2								1
小計(20科目)				－	27	0	0	2	0	1	2	0	12
専攻科目	専門分野 基盤専門看護学分野	基礎看護学	看護学概論	1前	1								1
			グローバルヘルスと看護	1前	1								1
			基礎看護方法論Ⅰ(含医療安全)	1後	2					1			
			基礎看護方法論Ⅱ(含看護管理)	3後	1					2			
			基礎看護技術Ⅰ	1前	1					2			
			基礎看護技術Ⅱ	1後	1					2	1		
			基礎看護技術Ⅲ	2前	1					2	1		
			基礎看護技術Ⅳ	2後	1					2			
			看護過程	2通	1					4	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					4	1	1	
			基礎看護学実習Ⅱ	2前	1					4	1	1	
			基礎看護学実習Ⅲ	2後	2					4	1	1	
		成人看護学	成人看護学概論	2前	1			1					
			多様性とセルフマネジメント	2前	1			1					
			急性看護援助論Ⅰ	2後	1			1	1		2		
			急性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	2		1		
			慢性看護援助論Ⅰ	2後	1				2		2		
			慢性看護援助論Ⅱ	3前	1				2		2		
			成人看護学実習(急性期)	3前	3			1	3		2	2	
			成人看護学実習(慢性期)	3前	3			1	3		2	2	
	生涯発達看護学分野	母性看護学	母性健康看護学概論	2後	1								
			グローバル社会とウィメンズヘルス	2後	1								
			母性看護援助論Ⅰ	3前	1					1	1		
			母性看護援助論Ⅱ	3後	1					1	1		
			母性看護学実習	3後	2					1	1		
		小児看護学	小児看護学概論	2後	1			1					
			多様性と子ども	2後	1			1					
			小児看護援助論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
			小児看護援助論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
			小児看護学実習	3後	2			1		1	1		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専攻科目	専門分野	生涯発達看護学分野 老年看護学	高齢者看護学概論	3前	1			1					
			多様性と超高齢化社会	3前	1			1					
			高齢者看護援助論Ⅰ	3前	1						1		
			高齢者看護援助論Ⅱ	3後	1						1		
			高齢者看護学実習Ⅰ	3後	2						2	2	
			高齢者看護学実習Ⅱ	3後	2						2	2	
		国際地域看護学分野 精神看護学	精神看護学概論	2後	1				1				
			地域社会のメンタルヘルスと多様性	3前	1				1				
			精神看護援助論Ⅰ	3後	1				1	1	1		
			精神看護援助論Ⅱ	4前	1				1	1	1		
			精神看護学実習	4前	2				1	1	1		
		国際地域看護学分野 在宅看護学	在宅看護学概論	2後	1			1					
			グローバル化と在宅看護	3前	1			1					
			在宅看護援助論Ⅰ	3後	1			1			2		
			在宅看護援助論Ⅱ	4前	1			1			2		
			在宅看護学実習	4前	2			1			2		
		国際地域看護学分野 国際看護学	国際看護学概論	1前	1			1					
			国際看護演習Ⅰ	1後	1			1	1		1		
			国際看護演習Ⅱ	2前	1			1	1				
			国際看護演習Ⅲ	3前	1			1	1				
			国際看護演習Ⅳ	4後		1		1	1				
			国際看護学実習Ⅰ	1前	1			1	1		1		
			国際看護学実習Ⅱ	2前・後	1			1	1		1		
			国際看護学実習Ⅲ	3後	1			1	1		1		
		統合分野 看護探究学	外国人診療	4前	1			2					1
			災害看護	4後	1				1				
			看護研究Ⅰ	3後	1			6	4	8			
			看護研究Ⅱ	4通	3			6	4	8			
			統合看護学実習	4後	2			6	4	8	10		
	小計（59科目）			－	73	1	0	7	4	8	10	3	1
合計（103科目）				－	117	11	0	8	5	8	10	3	34

卒業要件及び履修方法

〈卒業要件〉
・4年以上在学し、必修117単位、選択必修2単位を含む合計124単位以上を修得すること。
・入学時からの通算GPA1.5以上
　履修科目の登録の上限：1年次 40単位／年度、2～4年次 20単位／学期　※GPAにより変動

〈履修方法〉
総合科目の【基礎分野】から、以下の通り合計22単位以上を修得すること。
　・必修17単位
　・［グローバル社会と言葉］から選択必修2単位※
　・［リベラルアーツ］［グローバル社会と文化］の選択科目から合計3単位以上
専攻科目の【専門基礎分野】区分から必修27単位を修得すること。
専攻科目の【専門分野】区分から必修73単位を修得すること。

※「看護のための中国語」または「看護のための韓国語」のいずれか1単位 および「Basic Communication in Global Context」または「Listening & Speaking in a Global Society」のいずれか1単位

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専攻科目	専門分野	生涯発達看護学分野 老年看護学	高齢者看護学概論	3前	1			1					
			多様性と超高齢化社会	3前	1			1					
			高齢者看護援助論Ⅰ	3前	1					1	1		
			高齢者看護援助論Ⅱ	3後	1					1	1		
			高齢者看護学実習Ⅰ	3後	2					1	1	2	
			高齢者看護学実習Ⅱ	3後	2					1	1	2	
		国際地域看護学分野 精神看護学	精神看護学概論	2後	1				1				
			地域社会のメンタルヘルスと多様性	3前	1				1				
			精神看護援助論Ⅰ	3後	1				1	1	1		
			精神看護援助論Ⅱ	4前	1				1	1	1		
			精神看護学実習	4前	2				1	1	1		
		国際地域看護学分野 在宅看護学	在宅看護学概論	2後	1			1					
			グローバル化と在宅看護	3前	1			1					
			在宅看護援助論Ⅰ	3後	1			1			1		
			在宅看護援助論Ⅱ	4前	1			1			1		
			在宅看護学実習	4前	2			1			1		
		国際地域看護学分野 国際看護学	国際看護学概論	1前	1			1					
			国際看護演習Ⅰ	1後	1			1	1		1		
			国際看護演習Ⅱ	2前	1			1	1				
			国際看護演習Ⅲ	3前	1			1	1				
			国際看護演習Ⅳ	4後		1		1	1				
			国際看護学実習Ⅰ	1前	1			1	1		1		
			国際看護学実習Ⅱ	2通	1			1	1		1		
			国際看護学実習Ⅲ	3後	1			1	1		1		
		統合分野 看護探究学	外国人診療	4前	1			2					1
			災害看護	4後	1				1				
			看護研究Ⅰ	3後	1			4	5	8			
			看護研究Ⅱ	4通	3			4	5	8			
			統合看護学実習	4後	2			4	5	8	9		
	小計（59科目）			－	73	1	0	5	5	8	9	2	2
合計（103科目）				－	117	11	0	6	6	8	9	2	34

卒業要件及び履修方法

〈卒業要件〉
・4年以上在学し、必修117単位、選択必修2単位を含む合計124単位以上を修得すること。
・入学時からの通算GPA1.5以上
　履修科目の登録の上限：1年次 40単位／年度、2～4年次 20単位／学期　※GPAにより変動

〈履修方法〉
総合科目の【基礎分野】から、以下の通り合計22単位以上を修得すること。
　・必修17単位
　・［グローバル社会と言葉］から選択必修2単位※
　・［リベラルアーツ］［グローバル社会と文化］の選択科目から合計3単位以上
専攻科目の【専門基礎分野】区分から必修27単位を修得すること。
専攻科目の【専門分野】区分から必修73単位を修得すること。

※「看護のための中国語」または「看護のための韓国語」のいずれか1単位 および「Basic Communication in Global Context」または「Listening & Speaking in a Global Society」のいずれか1単位

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

西原かおり講師就任辞退による、教員配置の変更
・「キャリアプランニングⅠ」の専任教員講師の配置を「9」から「8」に変更。
・「キャリアプランニングⅡ」の専任教員講師の配置を「9」から「8」に変更。
・「高齢者看護援助論Ⅰ」の専任教員講師の配置を「1」から「0」に変更。
・「高齢者看護援助論Ⅱ」の専任教員講師の配置を「1」から「0」に変更。
・「高齢者看護学実習Ⅰ」の専任教員講師の配置を「1」から「0」に変更。
・「高齢者看護学実習Ⅱ」の専任教員講師の配置を「1」から「0」に変更。
・「看護研究Ⅰ」の専任教員講師の配置を「9」から「8」に変更。
・「看護研究Ⅱ」の専任教員講師の配置を「9」から「8」に変更。
・「統合看護学実習」の専任教員講師の配置を「9」から「8」に変更。

【令和２年度】

配当学期の変更
・教育効果を考慮し、「国際看護学実習Ⅱ」の開講時期を「2前･後」から「2通」に変更。

教育課程充実のためのクラス増に伴う担当者追加
・「Listening & Speaking in a Global Society」の兼任・兼担教員の配置を「0」から「2」に変更。

卯川久美准教授昇任、土谷僚太郎助教昇任、
服部容子教授退職、齋藤雅子教授退職、井上勇太助教退職、
狩野由紀子助教就任辞退、後藤小夜子助教就任辞退、
田中春菜講師就任、堀川尚子助教就任
による、教員配置の変更
・「キャリアプランニングⅠ」の専任教員教授の配置を「6」から「4」、専任教員准教授の配置を「4」から「5」、専任教員助教の配置を「10」から「9」に変更。
・「キャリアプランニングⅡ」の専任教員教授の配置を「6」から「4」、専任教員准教授の配置を「4」から「5」、専任教員助教の配置を「10」から「9」に変更。
・「医療関係法規」の専任教員教授の配置を「2」から「1」に変更。
・「看護学概論」の専任教員教授の配置を「1」から「0」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
・「グローバルヘルスと看護」の専任教員教授の配置を「1」から「0」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
・「基礎看護方法論Ⅰ（含医療安全）」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「基礎看護技術Ⅰ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「基礎看護技術Ⅳ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」。
・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」。
・「基礎看護学実習Ⅲ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」。
・「急性看護援助論Ⅰ」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」、専任教員講師の配置を「1」から「0」、専任教員助教の配置を「1」から「2」に変更。
・「急性看護援助論Ⅱ」の専任教員准教授の配置を「1」から「2」、専任教員講師の配置を「1」から「0」、専任教員助教の配置を「0」から「1」に変更。
・「慢性看護援助論Ⅰ」の専任教員助教の配置を「1」から「2」に変更。
・「慢性看護援助論Ⅱ」の専任教員助教の配置を「1」から「2」に変更。
・「成人看護学実習(急性期）」の専任教員准教授の配置を「2」から「3」、専任教員講師の配置を「1」から「0」、専任教員助教の配置を「1」から「2」、専任教員助手の配置を「3」から「2」に変更。
・「成人看護学実習(慢性期）」の専任教員准教授の配置を「2」から「3」、専任教員講師の配置を「1」から「0」、専任教員助教の配置を「1」から「2」、専任教員助手の配置を「3」から「2」に変更。
・「母性健康看護学概論」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「グローバル社会とウィメンズヘルス」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「母性看護援助論Ⅰ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「母性看護援助論Ⅱ」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「母性看護学実習」の専任教員教授の配置を「1」から「0」に変更。
・「高齢者看護援助論Ⅰ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」に変更。
・「高齢者看護援助論Ⅱ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」に変更。
・「高齢者看護学実習Ⅰ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」、専任教員助教の配置を「2」から「1」に変更。
・「高齢者看護学実習Ⅱ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」、専任教員助教の配置を「2」から「1」に変更。
・「在宅看護援助論Ⅰ」の専任教員助教の配置を「2」から「1」に変更。
・「在宅看護援助論Ⅱ」の専任教員助教の配置を「2」から「1」に変更。
・「在宅看護学実習」の専任教員助教の配置を「2」から「1」に変更。
・「看護研究Ⅰ」の専任教員教授の配置を「6」から「4」、専任教員准教授の配置を「4」から「5」に変更。
・「看護研究Ⅱ」の専任教員教授の配置を「6」から「4」、専任教員准教授の配置を「4」から「5」に変更。
・「統合看護学実習」の専任教員教授の配置を「6」から「4」、専任教員准教授の配置を「4」から「5」、専任教員助教の配置を「10」から「9」に変更。

【令和３年度】

教育課程充実のためのクラス増に伴う担当者追加

・「Academic Writing & Debate」の兼任・兼担教員の配置を「1」から「3」に変更。

西山忠博講師退職、市川由希子助教退職、判治康代助教退職、助手1名退職、
藤井ひろみ教授就任、笹谷孝子准教授就任、川村小千代講師就任、望月明見講師就任、矢野朋子助教就任、助手1名就任、
による、専任教員配置の変更

・「キャリアプランニングⅠ」の専任教員教授の配置を「4」から「5」、専任教員准教授の配置を「5」から「6」、専任教員講師の配置を「8」から「9」、専任教員助教の配置を「9」から「8」に変更。
・「キャリアプランニングⅡ」の専任教員教授の配置を「4」から「5」、専任教員准教授の配置を「5」から「6」、専任教員講師の配置を「8」から「9」、専任教員助教の配置を「9」から「8」に変更。
・「医療関係法規」の専任教員教授の配置を「1」から「2」、専任教員助教の配置を「2」から「1」、兼任・兼担教員の配置を「1」から「2」に変更。
・「看護学概論」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」、兼任・兼担教員の配置を「1」から「0」に変更。
・「基礎看護方法論Ⅰ（含医療安全）」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」に変更。
・「基礎看護方法論Ⅱ（含看護管理）」の専任教員講師の配置を「2」から「1」に変更。
・「基礎看護技術Ⅰ」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
・「基礎看護技術Ⅱ」の専任教員講師の配置を「2」から「1」に変更。
・「基礎看護技術Ⅲ」の専任教員講師の配置を「2」から「1」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
・「基礎看護技術Ⅳ」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」に変更。
・「看護過程」の専任教員講師の配置を「4」から「3」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」、専任教員講師の配置を「4」から「3」に変更。
・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」、専任教員講師の配置を「4」から「3」、兼任・兼担教員の配置を「0」から「1」に変更。
・「基礎看護学実習Ⅲ」の専任教員准教授の配置を「0」から「1」、専任教員講師の配置を「4」から「3」に変更。
・「成人看護学実習(急性期）」の専任教員助手の配置を「2」から「0」に変更。
・「成人看護学実習(慢性期）」の専任教員助手の配置を「2」から「0」に変更。
・「高齢者看護援助論Ⅰ」の専任教員講師の配置を「1」から「2」に変更。
・「高齢者看護援助論Ⅱ」の専任教員講師の配置を「1」から「2」に変更。
・「高齢者看護学実習Ⅰ」の専任教員講師の配置を「1」から「2」、専任教員助手の配置を「2」から「0」に変更。
・「高齢者看護学実習Ⅱ」の専任教員講師の配置を「1」から「2」、専任教員助手の配置を「2」から「0」に変更。
・「精神看護援助論Ⅰ」の専任教員助教の配置を「1」から「0」に変更。
・「精神看護援助論Ⅱ」の専任教員助教の配置を「1」から「0」に変更。
・「精神看護学実習」の専任教員助教の配置を「1」から「0」に変更。
・「在宅看護援助論Ⅰ」の専任教員助教の配置を「1」から「2」に変更。
・「在宅看護援助論Ⅱ」の専任教員助教の配置を「1」から「2」に変更。
・「在宅看護学実習」の専任教員助教の配置を「1」から「2」に変更。
・「国際看護演習Ⅰ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」、専任教員助教の配置を「1」から「0」に変更。
・「国際看護演習Ⅱ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」に変更。
・「国際看護演習Ⅲ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」に変更。
・「国際看護学実習Ⅰ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」、専任教員助教の配置を「1」から「0」、専任教員助手の配置を「0」から「1」に変更。
・「国際看護学実習Ⅱ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」、専任教員助教の配置を「1」から「0」、専任教員助手の配置を「0」から「1」に変更。
・「国際看護学実習Ⅲ」の専任教員講師の配置を「0」から「1」、専任教員助教の配置を「1」から「0」、専任教員助手の配置を「0」から「1」に変更。
・「看護研究Ⅰ」の専任教員教授の配置を「4」から「5」、専任教員准教授の配置を「5」から「6」、専任教員講師の配置を「8」から「9」に変更。
・「看護研究Ⅱ」の専任教員教授の配置を「4」から「5」、専任教員准教授の配置を「5」から「6」、専任教員講師の配置を「8」から「9」に変更。
・「統合看護学実習」の専任教員教授の配置を「4」から「5」、専任教員准教授の配置を「5」から「6」、専任教員講師の配置を「8」から「9」、専任教員助教の配置を「9」から「8」に変更。

（注）・　２（１）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
92 科目	11 科目	0 科目	103 科目	92 科目 [0]	11 科目 [0]	0 科目 [0]	103 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{103} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分	内容				備考
（1）校地等 区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校舎敷地	1,685.96㎡ ~~24,777㎡~~ ~~23,779㎡~~	48,358.49㎡ ~~22,839㎡~~ ~~23,641㎡~~	802.57㎡ ~~802㎡~~ ~~0㎡~~	50,847.02㎡ ~~48,418㎡~~ ~~47,420㎡~~	校舎敷地と別地：学園バスにて20分～50分 大手前短期大学及び大手前栄養製菓学院専門学校と共用 「土地売却・近接地購入・研究施設の転用等のため(元)」 「近隣地購入・面積訂正のため(2)」 「近隣地購入・面積訂正のため(3)」
運動場用地	~~0㎡~~ ~~763㎡~~	21,829.47㎡ ~~21,829㎡~~	0㎡	21,829.47㎡ ~~22,592㎡~~	
小計	1,685.96㎡ ~~25,540㎡~~ ~~24,542㎡~~	70,187.96㎡ ~~44,668㎡~~ ~~45,470㎡~~	802.57㎡ ~~802㎡~~ ~~0㎡~~	72,676.49㎡ ~~71,010㎡~~ ~~70,012㎡~~	
その他	0㎡ ~~4,402㎡~~ ~~6,434㎡~~	12,237.56㎡ ~~5,165.33㎡~~ ~~1,558㎡~~	0㎡	12,237.56㎡ ~~5,165.33㎡~~ ~~5,960㎡~~ ~~7,992㎡~~	
合計	1,685.96㎡ ~~29,942㎡~~ ~~30,976㎡~~	82,425.52㎡ ~~75,353.29㎡~~ ~~46,226㎡~~ ~~47,028㎡~~	802.57㎡ ~~802㎡~~ ~~0㎡~~	84,914.05㎡ ~~77,841.82㎡~~ ~~76,970㎡~~ ~~78,004㎡~~	

（2）校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考
	21,268.16㎡ ~~20,669.45㎡~~ ~~32,247㎡~~ ~~30,606㎡~~ （30,606㎡）	24,566.55㎡ ~~21,220.96㎡~~ ~~13,002㎡~~ ~~12,841㎡~~ （12,841㎡）	6,767.60㎡ ~~6,325.03㎡~~ ~~3,661㎡~~ （3,661㎡）	52,602.31㎡ ~~48,215.44㎡~~ ~~48,910㎡~~ ~~47,108㎡~~ （47,108㎡）	大手前短期大学及び大手前栄養製菓学院専門学校と共用 「新築・建物売却・建物購入・研究施設の転用のため(元)」 「新築工事に伴なう建物解体のため（2）」 「新築工事に伴なう建物解体のため（3）」

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	59室 ~~45室~~ ~~55室~~ ~~54室~~	27室 ~~24室~~ ~~20室~~	53室 ~~55室~~ ~~57室~~ ~~46室~~	11室 （補助職員　3人）	0室 （補助職員　0人）	大学全体 「用途変更のため(元)」 「用途変更のため(2)」 「新築・用途変更のため(3)」

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	国際看護学部　看護学科	22室	共同研究室2室を含む

（5）図書・設備 新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
国際看護学部	3,768〔474〕 （4,022〔425〕） ~~（3,400〔391〕）~~ ~~（3,095〔374〕）~~ ~~（3,068〔370〕）~~	1,994〔732〕 （7,203〔5,182〕） ~~（7,056〔5,181〕）~~ ~~（2,104〔789〕）~~ ~~（1,994〔732〕）~~	1,982〔730〕 （7,190〔5,179〕） ~~（7,043〔5,178〕）~~ ~~（2,091〔786〕）~~ ~~（1,982〔730〕）~~	350 （383） ~~（324）~~ ~~（304）~~ ~~（301）~~	5,677 （5,677）	35 （35）	「医療・看護学関連の学術雑誌（電子ジャーナル含む）を整備したため（2）」 「医療・看護学関連の学術雑誌（電子ジャーナル含む）を整備したため（3）」
計	3,768〔474〕 （4,022〔425〕） ~~（3,400〔391〕）~~ ~~（3,095〔374〕）~~ ~~（3,068〔370〕）~~	1,994〔732〕 （7,203〔5,182〕） ~~（7,056〔5,181〕）~~ ~~（2,104〔789〕）~~ ~~（1,994〔732〕）~~	1,982〔730〕 （7,190〔5,179〕） ~~（7,043〔5,178〕）~~ ~~（2,091〔786〕）~~ ~~（1,982〔730〕）~~	350 （383） ~~（324）~~ ~~（304）~~ ~~（301）~~	5,677 （5,677）	35 （35）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	4,517.23㎡ ~~4,385.36㎡~~ ~~3,131㎡~~	524	289,167	大学全体 「面積訂正のため（2）」 「用途変更のため（3）」

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	2,518.28㎡ ~~3,355㎡~~	フィットネススタジオ	アスレチックジム	大学全体 「面積訂正のため（2）」

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	26,420千円 ~~26,422千円~~	1,155千円 ~~1,120千円~~	10,552千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
	共同研究費等	1,600千円	1,600千円	設備購入費	285,415千円 ~~285,423千円~~	2,637千円 ~~0千円~~	0千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,890千円	1,620千円	1,620千円	1,620千円	-千円	-千円

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（３）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	大手前大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合文化学部 総合文化学科	4	190	2年次 4 3年次 2	776	学士 （学術）	1.08	1.11	－	平成19	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
建築＆芸術学部 建築＆芸術学科	4	180	2年次 4 3年次 2	736	学士 （学術）	1.12	1.20	－	平成19	同上	令和３年度名称変更（【変更前】メディア・芸術学部メディア・芸術学科）
現代社会学部 現代社会学科	4	220	2年次 4 3年次 2	896	学士 （学術）	1.14	1.04	－	平成19	同上	
健康栄養学部 管理栄養学科	4	80	3年次 16	352	学士 （栄養学）	0.96	1.07	－	平成28	大阪市中央区大手前2丁目1番88号	
国際看護学部 看護学科	4	80	－	240	学士 （看護学）	1.05	1.11	－	平成31	同上	
現代社会学部 現代社会学科 （通信教育課程）	4	500	3年次 500	3,000	学士 （学術）	0.24	0.35	－	平成22	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
大学全体	－	1,250	2年次 12 3年次 522	6,000	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	大手前大学大学院						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
比較文化研究科 比較文化専攻 （博士前期課程）	2	10	－	20	修士 （学術）又は（文学）	0.45	0.60	－	平成8	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
比較文化研究科 比較文化専攻 （博士後期課程）	3	3	－	9	博士 （学術）又は（文学）	0.33	0.00	－	平成10	同上	
大学全体	5	13	－	29	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	大手前短期大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ総合学科	2	150	－	300	短期大学士 （ライフデザイン）	1.06	1.01	－	平成16	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
歯科衛生学科	3	70	－	140	短期大学士 （歯科衛生学）	1.09	1.08	－	令和2	同上	
大学全体	－	220	－	440	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成31年）	一般入試及び大学入試センター試験利用入試において提出を求める「志望調書」について、入学者選抜の合否判定の配点に含まれるのかなどの当該書類の位置付けを入学志願者に明確に示すこと。なお、当該書類を入学者選抜の合否判定の配点に含むのであれば、客観的に評価できる評価方法で実施すること。	遵守事項	「志望調書」の記入に関しては、募集要項の選考方法欄の配点項目には記載せず、「志望調書」は含まれないことを表示し、合否判定の配点に教科による判定と明記している。なお、出願はインターネット出願になるため、志願者に志願情報を入力する前に「志望調書」の記入見本(別添資料1)を画面上で確認させ、出願時に戸惑いが生じないように配慮している。（元）	履行済	
認　可　時 （平成31年）	教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。	遵守事項	教員の補充を必要とされた2授業科目については、現在教育・研究の実績を持った教員を探しており、令和3年度の科目開講時に間に合うようにAC教員審査の受審を完了させて配置する予定である。（２） 教員の補充を必要とされた2授業科目「高齢者看護援助論Ⅰ」「高齢者看護援助論Ⅱ」については、令和２年度第２回（７月審査）教員審査を受審し、教員を充足した。（３）	履行済	

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜国際看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
【実習系科目の開講について】	・「基礎看護学実習Ⅰ」（5日間）について、新型コロナウイルス感染症の影響に拠り、臨地に替わり学内での実習を実施した。模擬患者を招聘することで、当該科目の目的である病院外来での患者の状態を知り、看護師としての役割を学ぶ機会を確保した。 ・「基礎看護学実習Ⅱ」（5日間）について、新型コロナウイルス感染症の影響に拠り、3日間を臨地で、残りの2日間を学内で実施した。学内実習では、作成した看護援助の実施計画をシミュレーターを使って実践し、健康障害により日常生活の援助を必要とする患者に対して、既習科目で学んだ知識・技術・を適用し看護活動を実践する機会とした。 ・「基礎看護学実習Ⅲ」（10日間）について、新型コロナウイルス感染症の影響に拠り、臨地に替わり学内での実習を実施した。模擬患者を招聘し、バイタルサインの測定等を通したコミュニケーションを体験することで、看護過程の展開に必要な情報収集能力を培い、看護師として必要な態度と技術を習得する実習とした。 ・「国際看護学実習Ⅱ」（5日間）について、新型コロナウイルス感染症の影響に拠り、3日間を臨地で、残りの2日間を学内で実施した。学内実習では、実習予定であった施設の担当者によるZOOM講義を通して国際看護の必要性を学ぶとともに、実際に国際診療科で生じた事例を学習した。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学にてFD委員会を設置し、副学長を委員長とし各学部より選出され教学運営評議会にて承認された教員若干名で組織されている。(別添資料2)

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2020年度の本委員会の開催状況は下記のとおりである。

第１回	2020年 6月 2日(火)	出席委員 13名	欠席委員 1名	担当事務局　2名
第２回	2020年 7月 7日(火)	出席委員 12名	欠席委員 2名	担当事務局　1名
第３回	2020年10月 6日(火)	出席委員 14名	欠席委員 0名	担当事務局　1名
第４回	2020年12月 2日(火)	出席委員 14名	欠席委員 3名	担当事務局　1名
第５回	2021年 2月 2日(火)	出席委員 11名	欠席委員 2名	担当事務局　1名
第６回	2021年 3月 2日(火)	出席委員 12名	欠席委員 2名	担当事務局　2名

ｃ　委員会の審議事項等

・2020年度のFDの運営について
・2020年度国際看護学部のFD目標と計画
・８月のFSDについて
・国際看護学部FDのへの他学部教員参加報告
・次年度FDおよびFD委員について
・新しいFD様式の提案
・７月のFDについて
・大阪キャンパスFD報告
・健康栄養学部のFDについて
・今後のFD実施について

② 実施状況

a 実施内容

① 教員相互の授業参観、ティーチングポートフォリオ

② 専任教員対象FD

③ 教員・職員対象のFSD

④ 職員研修への参加SD

b 実施方法

① 教員相互の授業参観

毎年度、春学期もしくは秋学期の3週間を設定し、専任教員及び非常勤教員が相互に授業を見学し、気づいた点や参考になった点等をお互いが報告し、様々な授業を見学することにより、また、見学されることにより、学生に対してより良い授業となるよう教員が自ら授業改善するようにしている。

今年度はコロナ禍の影響により対面授業から非対面授業への切り替えを行った授業が多く、非対面での授業参観の実施と、授業見学が不可能な場合にはティーチングポートフォリオの作成を行った。

②～④ 専任教員対象FD、教員・職員対象FSD、職員研修への参加SD

毎月教授会終了後の1コマをFD実施用の時間として年間確保している。原則そこの時間は確保されておりFD委員会にて協議し、テーマを設定した課題にて、FDを開催している。

今年度は特に、コロナ禍の影響もあり、時間は確保された時間や、その他を使い「ZOOM」による、感染予防に配慮した形で開催した。

なお、国際看護学部では、学部においても開設時より独自のFDを実施しており、1.多様な文化・多様性への理解・受容を深め、教育能力の向上を目指す、2.本学部の目指す看護教育を全学部教員が共通認識をしたうえで、授業の具現化に向けた教育の質保証・向上につなげる、等を目標とし全5回行った。

職員研修(SD)に関しても、執行部の教員に対して参加を依頼し教職協働の相互理解のもと、より幅広い理解と様々な学修支援を実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）（Zoom参加含む）

2020年 4月 21日(火)	「非対面式授業のための非参集型FD」 Zoom	85名
2020年 4月 28日(火)	非参集型FD 中島先生 Zoom	84名
2020年 5月 1日(金)	非参集型FD 酒井先生 Zoom	52名
2020年 5月 2日(土)	遠隔授業の事例 事例1・事例2 Zoom	70名
2020年 5月 11日(月)	1)著作権法上の新制度について～遠隔授業における著作物 Zoom 2)el-campus利用授業の工夫	67名
2020年 5月 19日(火)	「新型コロナウィルス流行下における４年生への就職指導」	67名
2020年 7月 24日(金)	「春学期非対面授業振り返りのFD」 Zoom	54名
2020年 8月 3日(月)	「FSD 定員割れ時代における私学の成長戦略」	80名
2020年 9月 15日(火)	「プレゼンフェスタおよび教育ボランティア面談について」	37名
2020年10月 20日(火)	1)データサイエンスに基づく教育システムの活用と教育実践 2)ティーチングポートフォリオの作成について	101名
2020年12月 15日(火)	「教育ボランティア面談振り返りとプレゼンフェスタについて」	16名
2021年 3月 16日(火)	「PC必携化に伴う教育ICT活用の実現に向けて」	18名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「教員相互の授業見学」については、目的や視点について案内文に明確に表示し報告書の様式も変更している。今年度は、コロナ禍の中における取組となったため、授業見学又はティーチング・ポートフォリオ作成の実施とし、およそ30%の教員がティーチング・ポートフォリオ作成に取り組んだ。

授業見学においては、対面授業から非対面授業へ変更となった授業に対しても授業改善の一助となるように昨年度に引き続き、授業見学の対象となることとした。

本学では、教授会終了後に確保しているFD時間を有効に活用し、定例のFDを開催し、学修者にとってより良き授業となるよう、授業改善に取組んでいるが、今年度はコロナ禍の影響により対面授業から非対面授業へとなったことにより、ZOOMを用いた非対面授業のやり方や具体例を多く題材にし、学修者を中心とし理解できる授業運営のFDを頻繁に行い、専任教員及び非常勤講師といっしょになり授業改善へ取り組んだ。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

毎年春学期には7月に、秋学期には1月に全科目を対象として「授業評価アンケート」を実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

「学生による授業アンケート」を実施し、全科目に対してマークシート及び自由記述において、学生の意見も聴取している、アンケート結果については、集計し、各教員へフィードバックするとともに、自由記述等に対して教員はコメントを入力するようになっている。

特に今年度は、コロナ禍の影響もあり、対面授業及び非対面授業と２種類の授業形態が数多く発生したこともあり、対面授業と非対面授業のアンケート結果を検証し、今後の非対面授業をより良きものへと発展させていくよう検討していく予定である。

集計後は、学内のLMSシステムであるel-Campusにより教職員・学生に授業アンケート結果を公表している。

本システムは、総合学習システムであり、学生への掲示から自己学習システムや授業での配布物に加え、学生個人のポータルサイトまで含まれているものである。その中の掲示機能を応用し教職員・学生に対して、自由に閲覧できるようになっている。

なお、アンケートの集計結果を本学ホームページ上にも公表している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【国際看護学部の設置の趣旨と目的】

国際看護学部は、国際化にともない急速に変化する地域に在住する日本人だけでなく、定住外国人や訪日外国人、帰国者や渡航者および在外日本人をも含めて、国際化する社会に暮らす人々を対象に、多様な文化的背景や複雑多岐にわたる価値観、生き方を理解、受容し、看護の専門職として高潔な倫理観と使命感をもち、実践性・応用性のある健康支援と看護が提供できるグローバル人材としての看護師を養成することを目的として設置した。これを実現するために、建学の精神と目的に沿って、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの３つを定め、それらを基に入学者選抜、教育・実習、及び課外活動等を展開し、総合的にみて当初の計画どうり実施できている。

１．入学者選抜

入学者の選抜においては、学力審査、面談、面接、適性検査、小論文、高等学校の調査書、外国語等の資格試験の結果、大学入試センター試験の結果等をそれぞれの入試種別に応じて組み合わせて、必要な資質を有しているかを評価した。また、学ぶ意欲のある学生を選抜するために、出願時の志望理由書1,600字程度を課して、やる気を図る資料とした。その結果、令和元（2019）年度以降、令和３(2021)年度までの3年間における入試種別では志願者数、受験者数、合格者数及び倍率は当初の計画より多く、入学者の質を担保した上で、適正な入学者数を確保することができた。

２．修学状況

令和２（2020）年度入学者数84人のうち、令和３（2021）年５月現在では80人が在籍し、対人関係への悩みと学業意欲低下及び学費等の理由による退学者２人、転学部１人、出産による休学者1人であった。次いで、令和２年(2020)年度入学者数80人は全員が在籍し、加えて、2019年度の休学者が復学し、2年次科目の履修者は計81人となっている。GPAの平均値は１期生は１年次2.84, ２年次は2.82であった。また、２期生１年次は2.86であり、国際看護学部全体の平均GPAは2.84と高く、総体的に見て学習意欲の高い状況が継続できている。

３．教育目標の達成状況

学生の教育支援としてアドバイザー制を導入し、１人の教員に１２人前後の学生を割り当て、８クラス制として学習支援を中心に学生からの意見を取り入れた教育改善に努めている。また、１年次のアドバイザーは原則、継続して２年次のアドバイザーも担当し、２年間は同一の教員による学生支援を行っている。３年次は４名のクラス担当者を決め、４年次まで継続して関わり、国家試験対策等を指導している。加えて、GPAが2.0以下の学生は個別面談し、学習支援を行っている。講義展開としてはグローバル人材育成に向けたアクティブラーニングの導入や、キャリアプランニングの講義を通してプレゼンテーション能力も促すように工夫している。電子教科書を用いた講義は、本学情報メディアセンターとの連携を強化し学生支援に努めているが、教員間の意識統一がまだ不十分な場面もみられるため、次年度以降も、当初の計画に沿って、人材育成を行っていく。

グローバルコミュニケーション教育の核となる英語教育はネイティブの専任教員を中心に、１年次春学期より、大手前独自のプログラムLEO（Language Education of Otemae）による英語教育を行っている。看護の場面に求められるコミュニケーション能力の習得を重視し、学生の英語力別のクラス分けをした上で、１クラス30人程度の少人数制で講義を対応している。そして、英語教育のフォロー体制として、英語科目の終了後も、コミュニケーション力の弱い学生12人を対象に、イングリッシュカフェを週１回、計13回実施している。令和元（2019）年度秋学期の出席率は44.2%で、全出席２人、全欠席１人、１回のみ出席が２人であった。春学期（83%）に比べ出席率が低下した理由は「他の授業の課題に追われている」が多いなどである。また、秋学期開講科目の医療英語を用いた看護師の対応について学ぶ「国際看護演習Ⅰ」では、外来の問診に使用する医療英語について教授し、基本的な外来での症状に関する語彙力を育成した。また、毎回の講義時にミニテストを行い、医学英語検定に向けたテストに取り組む姿勢も促すように工夫した。講義後はメディカルイングリッシュカフェの時間を８回設けて、医療英語の学習力が低い学生を対象にフォローを行った。
前述したような英語学習を行うにあたっては、学生の英語力を随時評価し、適切なフォローを行うように努めている。また、プレイスメントテストやTOEIC等、英語検定等の民間試験を推奨し、学生の語学力向上に向けて取り組んでいる。

４．実習展開

令和２(2020)年度の実習展開は、４月より緊急事態宣言が発出され、コロナ禍での対応となった。そのため１年次生を対象とした「国際看護学実習Ⅰ」（７月末と８月初め）は定住外国人への看護を学ぶために地域のNPO法人等、実習目的を達成するために実習施設を増やし、１グループの人数を少数として実施した。その際、実習前後２週間と実習中は体調管理を徹底し、実習中もマスク、アルコール消毒の徹底を図った。病院組織の管理運営と看護師の役割を学ぶ「基礎看護学実習Ⅰ」は学内実習を代替えとし、臨地実習施設よりゲストスピーカを招聘し、実習目的に沿った説明と演習を行った。実習指導は、実習学生１グループに対して１人の指導教員を配置し、指導教員は実習配置の計画を基に、実習前後で臨地実習指導者と実習内容の調整を密に行い、実習中は双方が連携協力して学生の指導を行ってきた。２年次生を対象とした「国際看護学実習Ⅱ」は、実施時期を秋期後半に移動し、JICA,FACILの実習は全員が行うことができた。しかし、２度目の緊急事態宣言が発出されたため、検疫所は１グループ８人のみ、りんくう総合医療センターは６人のみの実習となった。そのため代替え実習をリモートや動画及びやさしい日本語の演習などをSP（模擬患者）を招聘して実施した。「基礎看護学実習Ⅱ」は３日間を臨地実習とし、2日間は臨地実習指導者を招聘して学内演習を行った。「基礎看護学実習Ⅲ」は２年次生全員の臨地実習施設を確保できなかったため学内演習により代替え実習を行い、全員、実習目標を達成することができた。

５．国際看護研究所の開設と活動

国際看護研究所を開設して３年目を迎える。令和３(2021)年度はJBIのシステマティックレビュー研究を学部教員に教示するため、５日間のCSRT（システマティックレビュー研修)を日英併用で実施した。また、CSRTの受講生のうち１人が、CSRTの指導者研修を受講し、CSRTを指導するトレーナー資格取得の研修を修了した。さらに、JBIが推奨するCSRTの結果を臨地に反映し、その効果を図るために、EBCP(Evidence Based Clinical Practice)プロジェクトを計画、実施し、臨地実習施設２か所より３人の看護師が参加し、半年間の共同研究を継続中である。

② 自己点検・評価報告書

令和２（2020）年度に「大手前大学　自己点検・評価報告書」を作成した。

ａ　公表（予定）時期

令和３（2021）年　４月　公表

ｂ　公表方法

本学webサイトにて公表

③ 認証評価を受ける計画

・平成２７（2015）年度に評価機関（(公財)日本高等教育評価機構）の評価を受審した。

次回受審については、令和４（2022）年度に受審を受けるべく計画している。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５）情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和３年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。